

能登 いまい農場だより 新年号

明けまして、おめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。
正月はうっすらと雪化粧していたのですが、小寒を迎えた今、地面が顔を出しています。これからが雪の本格シーズン、あまり積もらないことを願っています。
皆様、如何お過ごしでしょうか？

■農業も激動の波に

環太平洋パートナーシップ(TPP)や、日欧経済連携協定(EPA)により、徐々にですが、農業も国際化の波に、もまれようとしています。

昨年末のTBS日曜ドラマ、池井戸潤原作の「下町ロケット」ヤタガラス編で、農業と自然の猛威、ITを搭載した無人トラクターを開発する人々を題材にしたドラマがありました。時代に即応したドラマであり、夢もあるドラマで面白く見させていただきました。

さて、私の住む能登半島は平野部の面積が限られており、棚田もあります。また、大型ほ場にすべく取り組んではいるのですが、土地改良には莫大な経費がかかり、国からの補助金無くしては出来ません。

先月号にも書いたのですが、水田の耕盤がしっかりしていないと、田植機が深みにはまったり、トラクターやコンバインがはまり、長いワイヤーで牽引し、引き上げているようでは、GPSやITがあっても役に立ちません。客土をする、暗渠排水をするなど、農家サイドの普段の努力も必要になります。

また、山に近い所では、猪被害対策も重要です。猪は、縄張り意識があるため、臭いを付けていくのです。猪に入られた、田んぼは食用にはなりません。猪対策もITを活用し、捕獲用オリにセンサーやカメラを設置するなどの対策が必要になります。人間との知恵くらの側面もあります。

ITを農業に取り入れることで、経験が頼りだった農業から、少人数で効率化、大規模化経営が考えられますが、自然が相手だけに、地球の温暖化で、台風の大型化や、昨年のような自然災害が頻繁におきることも頭の片隅に……

我が家でも、トヨタのカイゼンを取り入れ、農業生産工程管理(GAP)の取得を目指して奮闘中です。

※GAPとは、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための、生産工程の取組。

裏面につづく

■NHK BSプレミアム「ニッポンの里山」で、すこし紹介してもらいました
H30.12月10日放送



当農場の取引先に奥能登・能登町で、有名な民宿「ふらっと」さんがいます。ご主人はオーストラリア出身のベンさん、奥さんの智香子さんと共に地元の食材を使ったイタリアンでもてなされます。そこからの依頼で、急遽東京からの撮影スタッフが訪れたのが5月下旬。

ベンさん智香子さん夫婦が当農場を訪れ、有機水田の生きものを探すという設定で、当農場には3回も撮影に訪れました。

10分間の番組中、2分弱あまり写していただきました。有機水田での撮影ということもあり、稲に混じって水田の多年生雑草オモダカが取り切れなくて、沢山生えているのが写りました。

しかし、水田の生きものも多くいることも放送されましたので、まあ雑草たちは仕方ないかとの思いです。

【左写真】生きものの捕獲中

両写真とも、NHK BSプレミアムから

